

いの



吾北小学校・吾北中学校・高知追手前高等学校吾北分校、3校合同運動祭
令和7年9月20日(土)(吾北中学校)

9月2日～16日

令和7年 第3回定例会

議案34件・諮問1件が執行部から提出され、原案通り可決した(報告5件)。発議1件が提出され、可決した。

注目の議案

令和6年度一般会計歳入歳出決算

令和6年度の町歳出全体 151億5,924万円

○廃止路線バス代替運行費補助	1億221万円
○伊野循環路線バス 運行委託料	838万円
○新婚新生活応援事業補助金	637万円(13件)
○出産祝い金	80万円(80件)
○学校給食費軽減事業(物価高騰分)	961万円
○にこ淵遊歩道新設工事	3,141万円
○にこ淵公衆トイレ新設工事	2,387万円



令和7年度一般会計補正予算(第3号)

- 外国語指導助手(ALT)派遣委託業務(令和7年度～令和10年度) 6,057万円
指定する小学校1校にALTを3人配置する計画。

質疑・討論

□令和7年第3回定例会

(議案第63号)

令和6年度一般会計決算

不納欠損が増えているのは

問 山崎議員

令和5年度より不納欠損(回収できない税・保険料)が増えているのはなぜか。

答 近藤債権管理課長

物価高騰、あるいはそれに伴う生活保護への移行、生活保護世帯より収入が低い水準や財産がないといった状況が出てきたというのが理由ではないかと考えられる。

不納欠損の判断をする場合、財産状況の調査や自宅訪問などを行い、生活状況を勘案したうえで、客観的に不納欠損の公平性を失す

ることのないように判断をしている。

ガバメントクラウドファンディングについて

問 山田議員

実施したガバメントクラウドファンディングの内容は。

答 尾崎総合政策課長

合併20周年記念コンサート開催事業費として2070千円、記念式典の楽曲等CD製作費として576千円をそれぞれ決算した。

防災行政アプリについて

問 山田議員

防災行政アプリのダウンロード数は増えているか。

答 土居総務課長

アプリダウンロードの有効アカウント数は、令和7年4月で6519件、同年8月で

6968件と順調に増えている。

大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査について

問 山田議員

大規模盛土造成地第二次スクリーニング調査は、令和6年度でどこまで調査が進んだか。

答 尾崎土木課長

天王地区を3つのブロックに分けて調査しており、令和6年度は北3丁目から南7丁目にかけてボーリング調査、地下水位の調査と安定計算が終了。安定性が担保でき、事業完了。他2か所、テニス場のある天王公園から南6丁目にかけてと野球場から南1丁目にかけてはボーリング調査完了。令和7年度は地下水位調査と安定計算の実施を予定。

(議案第75号)

令和7年度一般会計補正予算(学びの多様な学校開設工事・にこ淵オーバーツーリズム対策など)

外国語指導助手(ALT)に3年間で6千万円

問 山崎議員

1校に3人のALTの配置だが、3年間で約6000万円は高額だ。教育委員会や学校現場の意見は。本事業は現場から出た意見か。

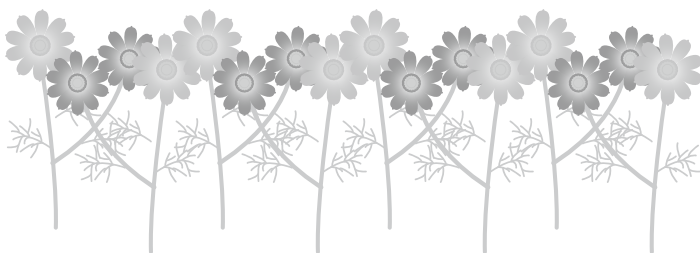
答 宮脇教育次長

事業の実施に当たり、教育委員会の定例会で2回ほど説明した。その中でも「ぜひ実施をしてほしい」「しっかり研究していったら」という意見が出た。

学校の意見は英語教育充実プランに反映されていると考える。

答 黒瀬教育長

英語教育充実プラン策定委員会を令和6年度に計4回開催した。全中学校の英語教員、全小学校の英語の代表者、校長会・教頭会の代表、また、県教育委員会の英語担当者によって充実プランを策定した。その中にALTの増員を求める声が出ていた。



議員発議議案

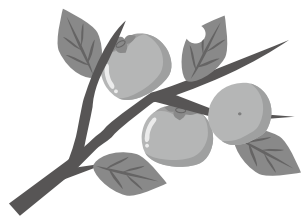
(発議第5号)

いの町議会委員会条例の一部を改正する条例

提出者 山岡 寿
賛成者 市川 賢仁
賛成者 浜田 孝男
賛成者 福井 英人
賛成者 藤崎 憲裕
賛成者 田岡 重雄
賛成者 井上 敏雄
賛成者 山崎 きよ

【提案理由】(原文)

議会運営委員会委員辞任により、議会運営委員会の定数の改正を行うもの。



常任委員会・特別委員会の活動報告

建設産経常任委員会

□ 8月14日

議題

- ① 翌債・繰越制度の柔軟な活用について
 - ② 国・県・町の事業について
 - ③ にご淵オーバートーリスム対策事業について
 - ④ その他建設産経常任委員会運営に係る協議事項の件
- 執行部からの説明を受けた後、質疑応答を実施。

議員所属の変更

議会運営委員会

委員長 山岡 寿
副委員長 市川 賢仁
委員 井上 敏雄
委員 田岡 重雄
委員 浜田 孝男
委員 福井 英人
委員 藤崎 憲裕
委員 山崎 きよ

【議会運営委員会委員任期】令和9年6月8日まで



お詫びと訂正

議会だより第83号の2頁の「いの町議会議員紹介」で、2番山本荘一郎議員の地区表示を「羽根」と掲載しましたが、正しくは「谷」ですので、お詫びして訂正します。

インターネット中継

<http://www.town.ino.kochi.jp/chosei/gikai/index.html>

インターネット
中継はこちら→



ライブ配信



配信されている映像・音声は、いの町議会の公式記録ではありません。
会議日程は「会期日程表」をご覧ください。

令和7年第3回定例会(9月)で議決された 議案などの賛否一覧表

●全会一致の議案

議案第58号	令和7年度いの町一般会計補正予算(第2号)の専決処分の報告及び承認に関する議案	可
議案第59号	令和7年度いの町墓地公園事業特別会計補正予算(第1号)の専決処分の報告及び承認に関する議案	可
議案第60号	いの町下水道事業経営審議会条例議案	可
議案第61号	いの町職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例議案	可
議案第62号	いの町下水道条例等の一部を改正する条例議案	可
議案第63号	令和6年度いの町一般会計歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第64号	令和6年度いの町水資源対策特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第65号	令和6年度いの町墓地公園事業特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第66号	令和6年度いの町国民健康保険特別会計(事業勘定)歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第67号	令和6年度いの町国民健康保険特別会計(直診勘定)歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第68号	令和6年度いの町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第69号	令和6年度いの町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第70号	令和6年度いの町特別養護老人ホーム特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第71号	令和6年度いの町再生可能エネルギー事業特別会計歳入歳出決算の認定に関する議案	可
議案第72号	令和6年度いの町水道事業会計決算の認定に関する議案	可
議案第73号	令和6年度いの町下水道事業会計決算の認定に関する議案	可
議案第74号	令和6年度いの町病院事業会計決算の認定に関する議案	可
議案第75号	令和7年度いの町一般会計補正予算(第3号)議定に関する議案	可
議案第76号	令和7年度いの町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)議定に関する議案	可
議案第77号	令和7年度いの町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)議定に関する議案	可
議案第78号	令和7年度いの町介護保険特別会計補正予算(第1号)議定に関する議案	可
議案第79号	令和7年度いの町特別養護老人ホーム特別会計補正予算(第1号)議定に関する議案	可
議案第80号	令和7年度いの町水道事業会計補正予算(第1号)議定に関する議案	可
議案第81号	令和7年度いの町下水道事業会計補正予算(第1号)議定に関する議案	可
議案第82号	令和7年度いの町病院事業会計補正予算(第1号)議定に関する議案	可
議案第83号	令和7年度脇ノ山公民館新築工事の請負契約の締結に関する議案	可

●全会一致の議案

議案第84号	令和7年度町道長沢中央線長沢橋橋梁補修工事その3の請負契約の締結に関する議案	可
議案第85号	財産の取得に関する議案	可
議案第86号	財産の取得に関する議案	可
議案第87号	字の区域の変更に関する議案	可
議案第88号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する議案	可
議案第89号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する議案	可
議案第90号	固定資産評価審査委員会委員の選任に関する議案	可
議案第91号	教育委員会委員の任命に関する議案	可
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	可
発議第5号	いの町議会委員会条例の一部を改正する条例	可

議 会 日 誌

7月7日(月) 仁淀川下流衛生事務組合議会
第1回臨時会
〃 高知中央西部焼却処理事務組合
議会第1回臨時会
11日(金) 議会広報特別委員会
18日(金) 議会広報特別委員会
22日(火) 議会広報研修(高知市)
23日(水) 仁淀消防組合議会第1回臨時会
28日(月) 議会広報特別委員会
30日(水) 議会運営委員会
31日(木) 市町村議会議員研修(高知市)

8月1日(金) 四国土砂防災ネットワーク議員
連盟第25回定期総会(香川県)
13日(水) 仁淀川下流衛生事務組合議会
第2回定例会

8月13日(水) 高知中央西部焼却処理事務組合
議会第2回定例会
14日(木) 高知西バイパス整備促進対策特
別委員会
〃 建設産経常任委員会
20日(水) 民生環境常任委員会
21日(木) 議員協議会
27日(水) 総務文教常任委員会
29日(金) 議会運営委員会

9月2日(火)～16日(火)
令和7年第3回定例会
25日(木) 四国四県町村長・議長大会
(高知市)
30日(火) 議会広報特別委員会

安心安全のまちづくり

質問Ⅱ 脇ノ山公民館新築工事期間中に

仮の避難所は設置できないか

答弁Ⅱ 利便性の高い場所に

仮設の避難所を設ける検討をしている



伊東 ひさたけ 議員

脇ノ山公民館は、避難所
となっている。

工事期間中に災害が起こればどこに避難するのか。2箇所の避難箇所を考えていると聞くが、いずれも遠距離であり、高齢者には、危険でないか。近隣に空き地があるが仮の避難所を設置できないか。

池田町長

避難所として使用している脇ノ山公民館は、老朽化等の理由により取り壊し、新たな建物を建設する計画

もう少し住民に寄り添った説明会ができなかったか。また、庁内横の連携について不十分ではないか。

池田町長

今後の工事の過程において、設計や施工の柔軟な対応が可能な部分については、できる限り地元の要望を反映したい。地域住民にとって利便性の高い公民館となるよう、引き続き丁寧な対応に努める。

教育委員会事務局と教育事務所との連携について指摘があった。今回の工事に関して情報共有が不十分であり、反省すべき点である。本庁勤務の事務局職員であっても、時には、現地へ赴くなど、現場の状況を的確に把握し、連携を密にすることで、円滑な事業の推進が可能になるものと考えている。

伊東議員

建替え工事に伴う地区説明会について、内容を住民に聞いた。説明は、満足のいくものではないということだった。

池田町長

建替え工事に伴う地区説明会について、内容を住民に聞いた。説明は、満足のいくものではないということだった。



新築前の脇ノ山公民館

地域猫活動

質問Ⅱボランティア団体の活動状況は
答弁Ⅱ提出義務がないので把握できていない



森本 節子 議員

町では猫に対してどのような取組をしているか。

濱田環境課長

町では、不妊去勢手術を施して、新たな猫が生まれないよう公衆衛生の向上及び日常生活の安全を図ることを目的に、猫の不妊又は去勢手術費用に対する補助事業に取り組んでいる。

内容としては、1世帯につき2匹まで、飼い猫又は飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用を補助の対象として、1匹につき5000円を限度に補助している。
町としては、令和5年度



に実施したふるさと納税を活用したガバメントクラウドファンディング「猫の不妊又は去勢手術支援プロジェクト」による寄附金を財源として、令和6年度から補助対象数を1世帯2匹から5匹へ、令和7年度は10匹へ増やし、無秩序な繁殖を防ぐ取り組みを実施している。

ボランティア団体の活動状況については、町内でTNR活動や地域猫活動をしている人はいると聞いているが、ボランティア団体として届け出の提出義務がないので活動状況は把握できていない。

投票所での支援と投票は

森本議員

町は、投票支援カードを作成しているか。また、先の参議院選挙で、投票に来たのに投票できなかった事例があったと聞いたが。

土居総務課長

町において、選挙人に支援が必要な場合、人的介助を積極的に行っている。投票支援カードは、令和7年7月執行の参議院選挙において、試験的に導入した。今後において、ホームページなどを活用しつつ投票環境の整備に取り組んでいく。

投票所入場券の記載誤りがあった件について確認したところ、住民異動届出時における行政区の登録に誤りがあり、本来登録されるべき行政区と異なる行政区で登録されていた。

池田町長

今後このようなことがないように複数で確認し、慎重に登録作業に努める。

子どもの 健やかな成長を願って

- ・不登校対策
- ・RSウイルスワクチン

森本議員

学びの多様な学校設置に向けての進捗状況と今後の取り組みは。

また、RSウイルスワクチンの接種費用に助成は。

黒瀬教育長

文部科学省担当に今後の見通しを確認したところ、令和7年10月末までには次の審査担当者に渡ると聞いているが、正式な許可の時期は明確ではない。

保護者への説明は、同年9月から10月にかけてすべての小中学校の参観日やPTAの役員会などで、対面及びオンラインによる説明会を実施する。

金子ほけん福祉課長

町としては、感染防止について注意喚起などを行いながら、国において、RS

ワクチンが定期接種に分類された際には、公費による費用助成について、迅速に対応していく。

物価高騰対策

森本議員

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業についての令和7年6月議会の私の一般質問で、プレミアム付き商品券やデジタル振興券、おむつ券の配布、お米の支給などに充てることはできないか質問したが活用事業の協議の中で話題にならなかったか。また、物価高騰の影響を受けている町民をきめ細かく支援できないか。

土居総務課長

提言があった4つの事業については、庁内において実施の可能性について課題や影響を多角的に精査し、慎重に検討したが、事業実施に要する経費が多額になることや、事務手続きに必要な時間の確保が困難であることから実施を見送った。

物価高騰に苦しむ町民への支援策を 質問Ⅱ町単独での支援は 答弁Ⅱ町独自の取組は検討していない



山本 庄一郎 議員

国の「地方創生2・0基本構想」は抽象的で、具体的な手立てが見えない。町はどのようにとらえたか。

物価高騰により庶民の暮らしは厳しくなっている。国が有効な手立てをしているとは見えない。町単独での支援は。

池田町長

政府は「人口減少に歯止めをかける取組」から「人口減少が続く事態を受け止め、社会・経済が機能する適応策を講じる取組」へと変化させた。

物価高騰への対策は、国

の交付金を活用し非課税世帯を対象に重点支援給付金事業などを行ってきた。

現時点では、町独自での生活困窮者の生活を守る取組は検討していない。

しかし、さまざまなケースに必要なサービスを関係機関につなげる体制を強化して取り組んでいる。

天神地区の悪臭対応を

山本議員

天神地区の住民は、悪臭と良い匂いの香害に悩まされている。

一つは、月曜日に悪臭が強く、相生浄化施設での汚泥の吸引作業によるものだ。

汚泥は相生川上流の製紙会社からのスラッジの流出によるものだが、町は「相生川の水質は法の規制は超えていない」としている。

だが、現に相生川にも汚

泥はあり、町のイメージとしても放置すべきではない。二つ目は、製紙会社での商品への香りづけに伴う匂いだ。近隣の住民は香害と感じるとのことだが調査や対応は。

濱田環境課長

悪臭については、バキューム吸引中に発生していたことから、隙間を板でふさいでから苦情などはない。

相生川の根本的な解決については、施設の改修などを視野に検討する。

匂いや騒音、野焼きなどの苦情相談窓口は環境課だ。原因の特定が難しいものもあるが、発生源や関係者には改善に向け指導や助言等を行っている。

消防の広域化には 住民の合意形成を

山本議員

知事は、消防の体制を県全体で一元化し、事務部門の余剰人員を現場に配置するとし、市町村議会の議決を令和7年度末までのス

ケジュールを発表した。

問題は、財政的な課題が未定であること、住民の命を守る立場の消防や救急・救命は一刻も早く現場に到着する必要があるのに、県一組織の人事異動で土地勘のない司令や消防士、救急隊員での対応には不安があることなど課題が多い。

知事の姿勢には、住民の命に関わる問題との認識も自治体議会も眼中にはなく、タイトなスケジュールを押し付けようとしていると見える。町は住民の理解と合意形成をどのように考えて対応するか。

池田町長

消防広域化の判断は住民の生命と財産を守ることを最優先に考え、住民の理解と合意形成も不可欠だと考えている。

県は基本計画の検討を進めており、基本計画案に対して意見公募を実施することとなっている。町はこの案が示された段階で、窓口揭示やホームページなどで周知を図り意見を寄せやす

い環境を整える。

住民の合意形成には、消防サービスの維持・向上を果たす体制の充実が前提であり、仁淀消防本部や消防団との意見交換も行い判断する。

給食は安全な食材に

山本議員

オーガニック農業は、エシカルなライフスタイルとして注目されている。

子どもたちの健全な発育には、米飯給食とオーガニック食材の使用を求めたいが。

宮脇教育次長

現時点では、パンや麺類よりコメの方が安価な状況であり、米飯中心の給食を提供している。

和洋中などのバリエーションのある食事の経験を積ませたいことと、子どもたちからパン・麺類も食べたいとの希望もあり、月に一回程度は提供している。

幼児期における英語教育

質問Ⅱ柔軟性のある幼児期に英語教育を
答弁Ⅱ早い時期から英語環境の整備は重要だ



福井 英人議員

幼児期は生きる力の基礎を学び、大人のように固定概念も少なく、柔軟に物事を吸収できる大事な時期だ。

だからこそ、英語環境の積極的な整備が重要だ。

今後の幼児期における英語教育の展望は。

黒瀬教育長

町における小中学校の英語力の現状は、全国学力・学習状況調査や高知県学力定着状況調査の結果、英語力の定着には課題が見られ、また、学年が上がるに従い、英語への興味・関心

が低くなる傾向もあり、早急な対策が必要だ。

町内の小学校1・2年生においては、外国語指導助手（ALT）の訪問日に合わせて、特設の時間として英語で簡単な挨拶をしたり、英単語を使って遊んだりする活動を行っている学校がある。

また、町内の私立保育園では外部指導者を活用し、英語の絵本の読み聞かせや英語の歌など、英語に慣れ親しむ活動を行っている園もある。

教育委員会としては、町内の子どもたちの英語力の現状を鑑み、早い時期から英語に慣れ親しむ活動や、楽しく学ぶ環境が重要と考えている。

今後は、限られた財源の中で就学前教育を含み、英語の環境整備や効果的な取組を検討し、実現可能なものから取り組む。

町立図書館のあり方

質問Ⅱ今後の図書館へ期待するあり方は
答弁Ⅱ街の活性化の拠点となる役割を

福井議員

従来の図書館は会話厳禁だったが、近年は「会話のできる図書館」という新しい概念がスタンダード化している。

官民連携まちなか再生事業として期待するあり方、また、従来の図書館の価値観とは違った時代のニーズのとらえ方は。

尾崎土木課長

JR伊野駅と羽根公園を人と人がつながる拠点や、中心市街地の活性化の拠点としての役割を期待している。

黒瀬教育長

かつて図書館は「本を読む場所・借りる場所」ととらえられ、現在は地域の情報拠点、世代を超えた学びや交流の場など、さまざまな機能が求められる。こうした変化に対応するため、

全国の図書館では複合型図書館の整備が進んでいる。

そのような全国の動向に注視しながら、町民の要望にしっかり応えられる図書館環境や運営が重要だ。

まずは現状の町立図書館に関する町民のニーズ調査を行い、今後の整備や運営の方向性を検討し、改善に向けた取組を進める。

福井議員

交流拠点となれば必然的にコミュニケーションが発生する。とは言え、学びや読書に集中したいニーズに応えるためにも、静寂の確保は必要だ。そのような背景から、要望が多いのは学習室の設置だ。地域社会の拠点を目指すには、まずは学びの場を求める利用者の思いに応えることでは。

また、令和10年には、現住所に移転開設30周年を迎えるにあたり、地域の関係

性を深め、町民から愛される図書館への一策として、愛称の公募を提案する。
節目の年に向けて、わくわく感のある取組を計画しないか。

黒瀬教育長

学習室の必要性は認識している。設置となると、防音設備等施設改修や新たな設備の導入が必要で、財政的な負担を伴い即時の対応は困難だ。学習室の必要性なども町民のニーズ調査の中で把握し、設備機能の見直し・改善に取り組む。

提案の愛称の公募は、町民の図書館への関心を高めるひとつの手段であり、移転30周年に向けて、わくわくするような取組を検討する。



人が集まる「グリーン・パークほどの」

質問Ⅱ観光客をひきつける施策は
答弁Ⅱ集客・活性化策については

県と連携しながら検討する



筒井 一水 議員

にこ淵では、駐車場の一角に地域特産品や飲食を出

店できるように「にこ淵駐車場出店要項」を作成して観光客に満足してもらえ

ように努力をしている。

グリーン・パークほどのにも何らかの施策を検討しなければ、ますます、観光客がグリーン・パークほど

濱田副町長

グリーン・パークほどの集客については、新設さ

れた「森の〇〇な家」など

の新たな魅力的な施設の活用や、老朽化した既存施設の改修を行い集客を図っている。また、駐車場の空きスペースを活用してRV

パークと呼ばれる充電や給水が可能な車中泊施設を整備し、宿泊ができる取り組みを検討している。

筒井議員

他市町村では、自然を生かした施設を作りたくさんの観光客が利用して賑わっている。四十町の十和にあるジップラインの施設では、5万人を超えたと聞く。

仁淀川町では「ニヨフラ」津野町では「フォレストアドベンチャー」梶原町では「ファンモック」といった施設が建設されており多くの観光客が来ている。

こういった施設は、県の補助金を活用して設置されたと聞くが、町も自然を生

かした施設を作るよう県に相談はできないか。

濱田副町長

オーバーツーリズム対策

事業を進めていくうえで組織している協議会の中に、県地域観光課や仁淀川地域本部もメンバーとして入っ

ていて、グリーン・パーク

ほどのへの集客などについて

も一緒に協議している。

私自身も県の担当部署と

意見交換をする場で、相談、情報共有を行っている。協議を重ねる中で、一定の方

向性が見えたら、集客・活性化策についても県と連携しながら検討する。



グリーン・パークほどの

町職員の安心・安全

質問Ⅱドライブレコーダー

の設置計画は

答弁Ⅱ予算が伴うが

できるだけ早期に

筒井議員

定例会では、町職員による公用車での接触事故の報告がある。

交通事故は、職員の不注意で起こる場合と相手から接触される場合がある。

そのため、ドライブレコーダーの設置は必要と考えるが、現在の、公用車のドライブレコーダー設置状況は。

土居総務課長

ドライブレコーダーの設置については、交通事故の原因究明、過失割合の判断だけでなく職員の安全運転意識を高める上でも有効であると認識している。

ドライブレコーダーの設置状況は、62台で新規購入や更新時に設置している。全車両に一斉に行うのは財政的にも難しいため、高速

道路を頻繁に利用する車両や使用頻度の多い車両に順次設置していく。

筒井議員

ドライブレコーダーは今、110台余りが未設置と聞く、1台の価格は5000円以下で販売している。予算も50万円ぐらいで全車両に設置可能と思えるが、職員の安心・安全を確保するために

も早期に設置すべきではないか。

土居総務課長

予算が伴うことでもあるので、令和7年度中にできる部分は進めていくこととし、できるだけ早期に全車に設置できるよう努める。



ドライブレコーダー未設置の公用車

全国の自治体病院9割赤字

質問Ⅱ診療報酬の引き上げを要求しないか
答弁Ⅱ令和8年度の改定に向けて国へ要望する



山崎 きよ 議員

の9割と、非常に厳しい経営環境にある。

令和8年度の診療報酬の改定に向けて、全国自治体病院協議会の高知県支部などを通じて他の自治体病院とも連携しながら、診療報酬の大幅な引き上げや財政措置の拡充など、国へ要望していく。

令和6年度の仁淀病院決算は他会計からの繰入金によって経常収支で黒字になっているが、医療サービスでの収益はマイナスとなっている。医療での安定した収益増を目指すには、診療報酬の引き上げが必要だ。

国に対し、患者負担増なしの診療報酬引き上げを求めないか。

鍋島仁淀病院事務長

仁淀病院をはじめ全国の自治体病院では、物価高騰や人件費の上昇により、経常収支が赤字の病院が全体

学校体育館・伊野体育館のエアコン設置

山崎議員

第3次振興計画で、令和8年度に伊野小学校、令和9年度に伊野中学校の体育館にエアコン設置の計画がある。(令和10年度には枝川小学校)

文科省は、学習の場とともに災害時には避難所として活用される学校体育館について、今後10年間でエアコンの設置率を95%にする

計画。そのため令和15年度を期限に空調設備整備臨時特例交付金を創設した。

町内全学校体育館を視野に計画しないか。また伊野体育館の整備は。

宮脇教育次長

体育館へのエアコン設置の順番や箇所数は総務課危機管理室と協議・検討し、災害時の避難所として優先的に整備する必要性を考慮して決定した。

初期投資が高額であることやランニングコストなどを踏まえ、他の学校体育館や伊野体育館を含めた町有体育館へのエアコン設置の可否を含めた整備計画を検討していく。

学びの多様化学校開校にあたり通学補助は

山崎議員

令和8年度開校の学びの多様化学校は、町内全域から通学できるようにするため、徒歩で通学できない場合が出てくる。現在でも、

のぞみ教室には保護者が送迎したり、タクシーを利用する児童生徒がいる。

学びの多様化学校と共に、のぞみ教室に通う児童生徒の通学支援はできないか。

黒瀬教育長

仮に学びの多様化学校分教室に通いたいという意思を持って入級を希望し、通学に支障があつて入級できないならば、できる限り通学が可能となる支援に努める必要があると考える。

一方、教育支援センターのぞみ教室は、現状、基本的には施設を利用する人が自ら来所してもらう必要があると考える。ただ、令和8年度以降は同センター内に分教室が同居するので、分教室の入級希望者及び、のぞみ教室の利用希望者については、事前の面談により通学・通室方法の確認と必要な支援策を検討する。

特定健診に聞こえの検査は

山崎議員

難聴は認知症の原因の一つであり、適切な時期に補聴器を使用することで、認知症を予防できる。町は補聴器購入費助成をしているので、適切な時期に補聴器使用につなげていくために、65歳以上の特定健診に聴力検査を加えないか。

金子ほけん福祉課長

特定健診の項目は、国の基準により定められており、現時点では聴力検査を加えるのは難しい。

今後は補聴器購入費助成事業の周知と併せて、ミニデイなど地域のつどいなどで、加齢による聴力の衰えの早期の気づきや対応の重要性について啓発していきたい。



いの町令和の教育ビジョン

(令和7年度版)

質問Ⅱ全国学力・学習状況調査の成果は
答弁Ⅱ全国並みか、それ以上の学力だ



浜田 孝男 議員

①町における全国学力・学習状況調査の成果と課題は。また、今後の取り組みは。

②英語教育の状況と今後の取り組みは。

黒瀬教育長

①町の令和7年度全国学力・学習状況調査結果は、町全体の小学校6年生では、国語・算数・理科のいずれの教科においても全国の平均正答率を2〜4ポイント程度上回っている。

また、中学校3年生の正答率は、国語は全国平均を

上回り、理科は全国と同程度、数学は全国平均よりも若干低いという結果だった。

このことから、小中学生ともに、おおよそ全国並みか、またそれ以上の学力の定着が図られている。

一方、課題は、質問調査において「自分には良いところがある」「将来の夢や希望を持っている」といった自尊心や自己実現への思いなどは、全国・高知県と比較して、肯定群の割合が低い状況だった。

今後も、全国学力・学習状況調査の結果を活用した検証改善サイクルの充実に図り、児童生徒の学力の定着・向上と、町の教育課題の改善に努める。

②町の英語教育実施状況調査の結果は、全国や高知県と比較して低い状況にあり、小学校からの授業の積み上げが必要だと考えている。

課題解決に向けて「いの町英語教育充実プラン」を策定しており、今後は、町内の小中学校で英語の公開授業と研究協議を行う。

また、小学校における外国語指導助手(ALT)の効果的な活用の実践研究を行う。

教育委員会として、課題解決に向けて、学校と連携・協働を密にして「英語教育充実プラン」の確実な推進に努める。

伊野南墓地公園

浜田議員

①断水の原因と今後の対策は。

②空き区画の状況は。1区画でもあれば、公募を行い町民の需要に応えないか。

濱田環境課長

①令和7年8月2日に、伊野南墓地公園の水道が停止した。原因は、経年劣化による給水ポンプの故障であり、本体の交換が必要だったが、「盆時期」のため時間を要し復旧工事が8月21

日になった。

今後は、専門業者と相談し、定期的な点検を検討する。

②伊野南墓地公園の753区画は、町が確保している6区画を除き全てが完売している。

しかし、現在は、5区画が返還されているので、令和8年度に公募を行うことを計画している。

今後は、定期的な公募の実施を検討する。

「高知西バイパス」 日高村方面への延伸

浜田議員

①「高知西バイパス」の波川以西の日高村方面への延伸、今後の進め方は。

②地元への対応は。

尾崎土木課長

①令和7年4月22日、高知松山自動車道「いのち越知」区間が発表され、鎌田インターチェンジから波川西交差点の間において、日高方面へのルートが示された。具体的な手続きとして

は、県において公聴会を経て作成した案を、沿線町村の意見を求めたうえで、縦覧手続きを行う。

町は、令和7年9月22日に「いの町都市計画審議会」を開催し、町から県へ意見を付議する予定としている。

その後、高知県都市計画審議会を経て、国の同意を得た後に告示となる。

②新規事業化後は、奥の谷地区をはじめとする地元に対して、国土交通省が測量及び設計段階において開催する地元説明会にも町も同席し、意見を聞きながら事業に反映するよう国土交通省と連携し、着実に事業を推進していく。

町は、事業に係る地域の生活や環境への配慮を忘れることなく、寄り添った姿勢で取り組んでいく。

その他の質問事項

・町民祭の花火が見えない。堤防などへ影響がない範囲で河川内の樹木伐採を。

奥田川流域治水

質問Ⅱ調整池と奥田川氾濫の因果関係は
答弁Ⅱ詳細調査結果をもって判断したい



山田 卓彦 議員

天王地区には、河川の流下能力を超過する可能性のある洪水を河川に入る前に一時的に溜める池、調整池があるが、

- ①点検・管理主体は。
- ②点検・管理の頻度は。
- ③健全に機能しているか。
- ④奥田川氾濫との因果関係はないか。

尾崎土木課長

天王地区の雨水は、大きく分けて青少年の家西側の「調整池」と、テニスコート西側及び、天王北4丁目北側の「沈砂池」に流入後、奥田川に流下している。

①前述の3施設は町が管理。

②非出水期には年1回の点検のほか、台風などの異常出水後や、通常時の現場の巡回時などに職員の目視による確認と、草刈りなどの維持管理を行っている。

③天王北4丁目北側の沈砂池は、現状、草木が生えているが機能には支障がない。

テニスコート西側の沈砂池は、令和6年度の点検で多くの土砂の堆積を確認したため、令和7年度の渇水期に堆積土砂の取り除きを実施計画している。

青少年の家西側の調整池は、施設の規模が大きく、周囲の木は大きく成長している状態だ。また、調整池本体の深さもあり、中心部の目視点検には限界があるため、今後、詳細調査を計画しており、調査結果に応じて対応を検討したい。

水害防止情報システムは

④奥田川氾濫との因果関係は、調整池の詳細調査結果をもって判断したい。

山田議員

奥田川流域の雨量計は。

また、令和7年8月26日に町、(株)石垣、(学)東京電機大学によるワンコイン浸水センサ及びエリアレイン活用に関する産官学連携覚書締結がなされたが、奥田川流域治水に活用は。

土居総務課長

国土交通省が管理する雨量計があるが、観測状況は公開されていない。

エリアレインは、局地的な雨の強さや分布をリアルタイムで把握できるもので、その降雨データと浸水センサ情報を組み合わせることで、リスクの高まりを可視化することが可能となる。

今後、奥田川流域など町がワンコイン浸水センサを設置する区域については、エリアレインの観測対象とし、社会実装に向けた検証を進める。

山田議員

奥田川排水機場の雨量計はなぜ公開できないか。

今後、県・町で設置は。

土居総務課長

降雨量を長期記録しポン

地域公共交通

質問ⅡAIオンデマンド交通運用は
答弁Ⅱ早期実装に向け進める

山田議員

AIオンデマンド交通導入に向け令和6年10月2日から同年12月31日の間行われた実証実験の結果と、運用開始予定は。

尾崎総合政策課長

期間中962人が利用し、天王地区から伊野駅間の往来が最多であった。

移動時間の短縮など利便性が見られたが、相乗り運行に対して十分な理解が得られなかった点や、スマホを持たない人は電話予約しできない、ピーク時に予

プの運転管理に活用しており、公開に対応できる設備が整っていない。

県には今後設置要望など検討。町は、現時点で独自に設置予定はないが、県などによる設置見込みや地域の状況によっては対応を検討する必要があると考える。

約ができないなど課題がある。

また、運航便増加で運転手の休憩時間の確保に苦慮したことや、予約受付に係る事務負担の増などがあつた。

今回のデータ及び分析をもとに、課題に対しどう対処するか、費用対効果も含め早期実装に向け進める。

その他の質問事項

・グリーンスローモビリティと自動運転について

子どもが輝く教育、地域づくりのチャンス 質問Ⅱ 中山間地に教育の拠点を 答弁Ⅱ 町をあげての協力体制で取り組む



田岡 重雄 議員

中山間地の教育の魅力化の状況は。

高知追手前高等学校吾北分校の存続に関しては「オーバーツーリズム」の事例、本川神楽や民俗学で貴重な「寺川郷談」の記録、土佐和紙の課題など、自然環境と観光、伝統文化といった、全国に通用する町の特色を活かしては。

黒瀬教育長

吾北の中山間地域魅力化構想策定委員会では、今後の教育環境の充実・発展のため小学校と中学校の一貫教育の必要性などが議論さ

町民の安心のため、大きな行動とメッセージを

田岡議員

れ、令和7年度末に提言書をもらうことになっていく。また吾北分校はなくてはならない高校であり、教育をつなげることができる。

町の資源をキャリア教育で活用することは、吾北分校の魅力化の発信になる。

田岡議員

中山間地に園、義務教育、高校教育の拠点があれば、子育て環境は充実する。

過疎は進んでいるが、県外から高校生を呼び込むなど、地域づくりの大きなチャンス。町長の考えは。

池田町長

教育の魅力向上には、振興や人口減少対策を同時に進めることで、成果・効果が期待される。内容に応じて、協議の場に関係課の職員も加わるなど、町をあげての協力体制で取り組む。

令和6年元日の能登半島地震は、衝撃を受けた。山間に住む我が身に置き換えると、土砂崩れ、道路の寸断、耐震性のない避難所は大丈夫か、孤立がいつまで続くか、など不安は多い。

町民から「能登半島の状況を踏まえ、16億2720万円の地域振興基金の一部を、避難所整備など震災対策に活用しては」と提案を受けた。そういう条例改正の検討は。

土居総務課長

この基金は、国の要件により平成18年度に旧合併特例事業債を財源として設けられた。条例改正は、国の要件を満たさなくなるため、できないと考えている。

田岡議員

食料品なども値上がりし、ニュースでは世界各地の争いや「高知県内の訪問

介護、必要なサービス届かず」などの情報が流れる。高齢化が進み健康や体力の衰えも感じている。

能登半島地震の被害を目の当たりにして、不安が増幅している。それを和らげ、町民が「安心感」を持てるような大きな行動とメッセージが必要では。

池田町長

消防団屯所や消防車両の整備、ミニデイや学校での学習会による防災意識向上の取組、令和7年度からの住宅耐震化補助金の上限額引き上げなどに取り組んでいる。

今後も町民が安心・安全に暮らせるよう、震災対策の強化に全力で努める。

担い手の支援など、工夫や知恵で地域の維持を

田岡議員

区長や民生委員など地域ボランティアの努力で、ミニデイ事業や健康体操などが行われ、介護予防などに連動している。一方、運営

の担い手に負担が集中している例もある。また社会福祉協議会への委託事業「あったかふれあいセンター」では「つながりで笑顔あふれる地域づくり」が実践されている。

「集落活動センター」を含め、地域おこし協力隊や集落支援員の配置など、地域の維持と安心のための仕組みを充実させないか。

尾崎総合政策課長

地域おこし協力隊は、単なる労働力ではなく「移住・定住」も目的である。

田岡議員

当然、単なる労働力とは考えていない。制度を活用し担い手の支援、Uターンなどを含む人の流れを作る、笑顔の場を増やすなど、知恵を絞って、県とも情報共有し、工夫してはどうか。

尾崎総合政策課長

引き続き県内淀川地域本部とも意見交換、情報共有し、住民の自立した地域活動を伴走支援していく。

仁淀病院関係4事業

赤字大幅縮小される

質問Ⅱ診療体制の充実と病院存続への方向性は
答弁Ⅱ医師確保・診療体制の充実で経営改善へ



井上 敏雄 議員

病院関係4事業令和6年度決算報告は、総収益から総費用を差し引き、356万3千円の純損失となる。

令和5年度純損失との比較では、1億1913万7千円も減少した。人件費などの高騰の中、純損失が大幅に縮小され経営努力が表れている。診療体制の充実と病院存続への方向性は。

池田町長

病院事業は、基準外繰り出しを必要とする非常に厳しい経営状況の中、令和6年度決算では、経営改善の

兆しが見えてきている。

令和7年4月から、新院長就任後、地域に必要とされる病院を目指して、患者の初め対応を行う総合診療科や漢方外来の新設、小児科診療の充実を行った。

これからも医療ニーズの把握に努め、必要な医療サービスを提供できるように、常勤の整形外科医の招聘や、白内障の手術ができる眼科の診療体制の整備に向けて、高知大学医学部との協議に努めている。

わいせつ教員事件 守れ子どもの被害

井上議員

校内性暴力・盗撮カメラ巧妙化の文字が躍る。わいせつ行為の被害を受けた子どもたちは、一生消えることのない傷を心に負い、不安を背負う。町の対応は。

黒瀬教育長

県でも教職員による児童生徒への盗撮行為や、さまざまな不祥事により年間の懲戒処分が、2桁を超える異常な状況が見られる。

町では、教職員による不祥事を絶対に発生させないという強い覚悟を持って、不祥事根絶に向けた取組を進めている。

まずは、管理職の校長・教頭への研修の徹底と周知の場を定期的に設けて、全国や高知県での不祥事が発生する度に、その事例に基づく不祥事発生の原因を考え、自校の取組と改善策の確認などを行っている。事案によっては研修の徹底には厳しい指導や助言も行う。

また、令和6年度から町内すべての小・中学校では、年間を通じて校内不祥事防止研修を実施し、教職員の意識の高揚を図っている。

林福連携事業と

地域資源の活用を

井上議員

障り者・引きこもり者な

どに働く場の提供と、森林資源の活用で森の若返りなど環境改善に貢献しないか。

野村森林政策課長

林業、木材産業での林福連携の取組は、障り者などの新たな雇用機会の創出、及び自立支援といった視点から極めて重要である。全国ではすでにさまざまな取組が行われている。

町は、労働災害発生率が他の産業と比較して約10倍と高い林業の特殊性を十分考慮に入れ、先進事例を参考にしつつ、ほけん福祉課とも連携の上、林福連携の可能性を探っていく。

米食・パン食の単価 米は高いのか

井上議員

米高騰の文字が躍る。「俺は1合あれば3食足りる」の声を受け、5kgは何合か測ったら約33合だ。5kg400円では1合約121円。3500円なら1合約106円。米は高いのか、比較単価の公表で、農

業経営への理解を求めるべきでは。

曾我部産業経済課長

米価は、近年の単価比較では高騰しており、消費者の米離れが懸念される。

だが、各農業者は炎天下、熱中症対策が必要不可欠の中で、過酷な作業を行いつながら安全・安心な米を生産している。一方で、生産に必要な資材などは高騰し、経営を圧迫して厳しい状況に陥っている。

そのため、町は消費者に米の重要性や生産者の労苦に理解を求めていきたい。まずは身近な職員間で、情報発信を皮切りに、県やJA高知県を通じ周知していく。

その他の質問事項

- ・若者参画により次世代のまちづくり計画と実行を
- ・林野火災防止へ焚火の届け出制度条例の制定を
- ・デジタル機器過度の使用は子どもの健康を害す

ふるさと納税 質問Ⅱ増収に向けた今後の展開は 答弁Ⅱ掘り起こしや効果的なPR業務を実施



池上 仁 議員

町として増収に向け、どのような商品を軸として展開していくのか、また寄附件数と寄附金額の目標値は。

尾崎総合政策課長

令和7年度のふるさと納税寄附受け入れ目標額は4億円、寄附目標件数を1万6000件としている。目標額については令和4年度以降、毎年約5000万円ごとに増加しており、令和6年度の寄附金額が3億5985万3000円であることを踏まえて定めている。寄附件数については令和6年度1件あたり平均寄

附額が2万5000円だったことから目標額を達成するために必要な件数として逆算し定めている。

この目標達成にむけて、令和7年度は、これまで行ってきた新規事業者及び返礼品の掘り起こしに加え、新たにインターネット広告やSNSを活用した効果的なPR業務を実施し、寄附額の増額を目指している。

また、新たな主力返礼品の掘り起こしについても、中間管理業者のいの町観光協会と定期的に会議を行い、新たな商品開発に力を注ぎ、直接、返礼品提供事業者とも意見を交わし商品開発に努めている。

引き続き寄附金額の増額に加えて、地場産業の振興や町の活性化及び住民サービスの向上につながるよう取り組んでいく。

路面電車の今後の活用は

池上議員

町の事業者や、ときでん交通が共に発展していけるように、まちづくりや観光で具体的にどう活用するのか進行状況は。

尾崎総合政策課長

中心市街地では、市街地事業者の人々などを中心に活性化を進めている。

また、官民連携まちなか再生事業としてJR伊野駅から中心市街地、仁淀川の水辺空間をつなぎ、日常の暮らしにおいて多様な人が憩い、交わりを生み出すまちの拠点形成に取り組んでおり、これまでもトラライアルサウンディングとして伊野停留所内でカフェを実施するなど、日常の賑わい創出や利活用を模索している。

今後も観光面でもある伊野停留所や路面電車の歴史的、文化的な価値を生かして訪れてみたいまち、魅力あるまちづくりを進めている。

コミュニケーションが苦 手な人への支援策は

池上議員

多数参加型のコミュニケーションに支援をしているのは知っているが、コミュニケーションが苦手な人への支援策や取り組みは。

金子ほけん福祉課長

保健師などの専門職を中心に、地域住民主体のミニデイサービスや体操グループなどに参加できるように声がけなどのサポートをしている。

また、あったかふれあいセンター事業を伊野・吾北地区において展開し、体操やレクリエーション、創作活動を通じて、集いの場の提供や相談支援、介護予防活動を行っている。

その中で、あくまで傾向として、男性の人が地域活動への参加が少なく、閉じこもりがちとなることから、男性が参加しやすい「Gの会」という集いの場を立

ち上げており、支援している。この会では、集いの場としてだけでなく、料理教室など参加者の実際の生活に役立つ学びの場としての活動も行っている。

コミュニケーションが苦手な人は世代を問わずいる。そういった人が、社会的に孤立し、自らSOSを発信できず困っている場合は、積極的に出向き必要は支援を行う必要がある。町では重層的支援体制のもと、支援が届いていない人に対して、積極的にかかわりを持ち、多機関協働で必要な支援につなげていく、アウトリーチ（訪問支援）などによる相談支援体制の充実に努めている。

社会福祉協議会をはじめとする関係機関と連携・協力し、コミュニケーションが苦手な人のペースにあわせて、その人がその人らしい形で社会とつながりを持ち、そのつながりを継続できるよう、さまざまな形で寄り添う支援を行っている。

基準外繰り入れ「0」円に向けて

質問Ⅱ令和9年度達成は、果たせるか
答弁Ⅱ診療体制強化などで収益確保を図る



池沢 のりこ 議員

池田町長は、一般会計からの基準外繰り入れをしない方針で仁淀病院を運営してきた。しかし、令和6年度決算では、8629万3000円の基準外繰り入れを行っている。

また、令和7年度当初予算では、1億1465万8000円が一般会計からの基準外繰り入れとして計上された。さらに令和7年度人事院勧告による職員給与の大幅な増額が見込まれている。

①令和9年度、一般会計からの基準外繰り入れ「0」円に向けての取り組み状況は。

②病院職員（事務）は、町職員の人事異動で、今の状況を打破できるか。

鍋島仁淀病院事務長

①令和9年度の一般会計からの基準外繰り入れ「0」円を実現するために、診療体制の明確化などによる外来患者の増加、整形外科領域での手術やりハビリなどによる入院・外来患者の増加、さらに白内障の手術による眼科領域での患者の増加を図るとともに、救急患者の受け入れ体制の整備などに努め収益の確保を図る。

しかし、病院の収益増だけでは、仁淀清流苑などの介護保険施設の赤字を補うことは非常に難しく、介護保険施設を含めた病院事業全体のあり方を検討する必要がある。

今後仁淀清流苑のあり方についての検討委員会を

行っていく。そのなかで仁淀清流苑がおかれている現状さらには町内における介護老人保健施設の必要性、民間施設との連携などについて協議を進めていく。

なお、経営努力を上回るような人件費の上昇が見込まれており、令和8年度の診療報酬改定の際には、今の物価高騰や人件費の増加に見合うだけの診療報酬の改定が必要だ。

こうした現状については、仁淀病院特別運営委員会に報告し、意見を聞きながら令和9年度の経常収支の改善に向けて可能な限り対策を講じていく。

②令和7年7月にいわゆる病院のプロパー職員を3人採用している。今後、研修の充実などを通じて病院事業に習熟した職員の育成を図り、病院事務部の体制を整える。それにより、町職員の病院への人事異動は少なくなる。

予算の使われ方

町民は、きちんと知りたい

池沢議員

令和6年度決算における監査委員資料（決算審査意見書）で、初めて一般会計からの特別会計及び企業会計繰り出し金において基準外繰り出し金（総計3億8615万6448円）の記述があった。令和7年度一般会計当初予算では、他会計への基準外繰り出し金は、4億2505万4000円だ。

①他自治体が作っている「財政計画」をなぜ作らないか。

②いの町が現在作っている「収支見通し」を公表しないのはなぜか。

池田町長

①確固たる財政運営の方針をもって取り組む。財政健全化比率が全て健全を示していることから「財政計画」の策定は必要ない。

②「収支見通し」はあくまで予算編成に際しての内部資料だ。

また、退職者がでた混乱のない人事異動を

池沢議員

①何をもちて適材適所とした人事異動を行っているか。町長と職員とのコミュニケーションは十分か。

②年度途中の人事異動による町行政全体への影響をどのように認識しているか。

③令和7年9月末退職する2人の職員に対する人事異動はあるか。

池田町長

①職歴、人事評価、人事異動調書、所属長に対するヒアリングなどだ。各自の長所や個性を把握するよう努めている。

②業務の混乱や住民サービスへの影響がないよう努めている。

③退職2人に対する人事異動について、1人は、10月から採用予定としており、他方については、既に増員していたことから今の体制とする。

町内の教育現場の実態について

質問Ⅱ代替教員の着任、教員の休憩時間や不

登校児童生徒の実態は

答弁Ⅱ休憩時間を確保できていると言いはない



田上 雅哉 議員

教員不足が深刻化している。県内では急な病欠休暇だけでなく、事前に把握されている産休・育休に対しても代替教員が配置されない、あるいは配置が遅れる事例が報告されている。町内ではどうか。

また、教育現場の実態として、教員の休憩時間はどうなっているか。

さらに、不登校児童生徒の実態や支援はどうか。学びの多様化分教室に向けての実態把握は。

黒瀬教育長

令和7年度1学期は、産育休とも代替教員を配置することができた。また、9月1日現在も、予定している定数および代替教員を配置することができている。

令和5年度に、1か月以上代替教員を配置できなかった事例が3件あった。級外教員や複数教頭の配置校であったため、校内の人員による補習体制に加え、教育研究所の指導員をT2として派遣するなどして対応した。

教職員の休憩時間については、条例に従って、各学校でそれぞれ設定されているが、教職員の日々の業務内容を見ると、定められた45分の休憩時間が、実際に確保されていると言いはない。

休憩時間の設定は、精神的肉体的疲労を回復させ、

勤務能率の増進、不注意による公務災害の予防など、重要な役割を果たす。働き方改革を推進することで、教職員の適正な勤務時間の確保に努めていく。

令和7年度1学期の町内の長期欠席の小学生は29人（不登校8人、病欠欠席11人、その他10人）、長期欠席の中学生は41人（不登校17人、病欠欠席17人、その他7人）となっている。

学びの多様化分教室については、参観日やPTA役員会で説明会を実施。今後は学校との情報交換を密にし、入級説明を個別に行っていく。

不登校児童生徒の支援としては、各校での校内支援会の充実に努め、未然防止・初期対応・自立支援の各段階に応じた指導力や対応力を高めるため、県教育委員会の研究指定事業を受けて取り組んでいる。また、相談窓口や保護者支援、他機関との連携、居場所づくりや学び場の確保など、総合的な不登校対策に取り組んでいる。

耕作放棄地の対策は

田上議員

町内の耕作放棄地の実態と対策は。耕作放棄地の活用は。

曾我部産業経済課長

高齢化、担い手不足などから耕作放棄地が増加しており、住環境への被害や有害鳥獣被害の増加がある。

農業委員会と共に、年1回、耕作放棄地の調査を実施している。また、令和6年度策定した地域計画では5年後10年後の各農地の耕作状況を見える化した図面を作成している。これは、耕作放棄地化を未然に防ぐ対策として有効である。

また、中山間地域直接支払制度交付金や多面的機能支払制度交付金を用い、農地の維持管理を団体として実施してもらっている。

観光面での活用は、耕作放棄地は農地のためイベントとしての活用はできない。草刈りなどをする外部団体などについては、農地

の維持管理に苦慮する所有者にとって喜ばしいことだが、まずは、地域の意見を聞き、実情を考慮したうえで、検討していきたい。

森林伐採の現状、盗伐や誤伐を防ぐには

田上議員

森林伐採の現状、盗伐や誤伐の現状や対策は。

野村森林政策課長

令和6年度の伐採届出は69件（間伐13件、主伐56件）で、錯誤による無届伐採が、令和5年と令和6年にそれぞれ1件発生した。

盗伐や誤伐を防ぐには、所有者が定期的な、森林の状況を確認したり境界管理をしたりすることが重要だが、年々困難になっている。町としては、県や近隣市町村との情報共有、担当職員による森林巡視、町内の林業経営体との連携の下、伐採状況を注視していく。

移住対策について

質問Ⅱ 脇ノ山団地の活用は
答弁Ⅱ 移住定住促進に向けた取り組み
と併せ検討する



市川 けんじ 議員

ものだが、造成地内に地盤
変状が確認されたことや、
土砂災害防止法に基づく区
域指定がされ、レッドゾー
ン・イエローゾーンに指定
されたことから、分譲は慎
重に進める必要がある。

市川議員

過疎・高齢化の進む中山
間地域においては、町もい
ろいろな対策を講じている
が、人口は増えていない。
仕事があれば人は増え
ない。本川地区の脇ノ山団
地を昼の人口を増やすため
に、企業誘致を考えないか。
または、夜の人口を増や
すためにベッドタウンにす
ることも可能ではないか。

池田町長

中山間地域では、特に子
どもたちや若い親世代の活
気が必要になっている。
若年層の定住に向けた取
り組みは小学校の存続にも
かわる重要な施策と認識
している。新たな宅地の整
備は他の移住定住促進に向
けた取り組みと併せ検討す
る。

伊東本川総合支所長

脇ノ山団地は平成11年に
開通した新寒風山トンネル
の残土処理場を有効活用し
分譲住宅地の整備を行った

中間管理住宅は必要か

市川議員

町では空き家を改修して
移住者に貸し出しをする中
間管理住宅を整備している
が、十分活用されているか。
国・県の補助を利用して
整備しても、空き家のまま
で置くのであれば、10年先
には持ち主に返さなければ
ならない。どのように進め
ていくか。

尾崎総合政策課長

所有者の意向で申し込ん
でもらいい、地域のニーズを
ふまえて選定している。
現在9棟を整備している
が、1棟は現在空き家であ
る。移住体験ツアーなどを
実施するなど、入居者の確
保に努めている。

交通空白地有償運送 利用者に補助を

市川議員

本川地域においては、タ
クシー・ハイヤーなどの事

業所がなくなったことか
ら、公共交通空白地有償運
送を行っている。

公共交通機関も限られ、
今後、高齢者、運転免許証
返納者が増えていくと思わ
れる。この地域にとっては
必要な制度だ。しかし、公
共交通に比べ、利用料が高
額であることから、使いづ
らい。利用料の一部を負担
することは考えないか。

池田町長

公共交通空白地有償運送
については、令和6年度は
194件の利用があった。

有償運送の対価について
はタクシー料金のおおむね
半額とした運賃体系となっ
ているが、決して少額では
ない。運賃負担の軽減によ
り、利用しやすい環境をつ
くることで、外出機会が増
加すれば、通院・買い物な
ど日常生活のみならず、孤
立の防止や心身の活性化に
もつながるものと考え、補
助制度について早急に検討
をする。

移動販売事業者に 燃料費の補助を

市川議員

国の臨時交付金を利用し
て補助を行うとのことだが
、交付金がなくなれば、
コロナ禍のときのように止
めるのか。
単独費を使ってでも継続
していくべきだが。

池田町長

人口減少などによる販売
額の減少、遠方への移動な
どにより利益を出すのが難
しい移動販売事業者の良好
な運営の継続が中山間地域
の暮らしを守ることにつな
がると考えている。

現在は交付金などを活用
し、燃料費の補助を決めて
いるが、継続については、
社会情勢を踏まえ、財源確
保など、令和8年度の予算
編成時に関係各課で協議し
ていく。

町の観光資源

質問Ⅱ環境保全と安全への早急な整備を
答弁Ⅱ関係各課と連携し今後も取り組む

田上 久美 議員



町として、各地の観光地の現状をどう受け止めているのか、またその調査は。環境保全に関する取り組みを各観光地で何か行っているか。また見回りについての業務分担は。

曾我部産業経済課長

観光資源の現状について定期的な調査は行っていないが、ごみの投棄、バーベキュー後の直焚きの跡、使用された炭の放置などの課題は認識しており、仁淀川において管理者である国または県により、ごみ捨て禁止の看板が設置されてい

る方の行動変容を促すことが重要と考え、引き続き職員間で見回りを行い、観光客への周知活動を通じて観光資源の保全に努める。

田上議員

令和7年7月、仁淀川で重大事故が起こった。本人の着用意識が一番肝要ではあるが、啓発活動や川辺に近い施設でのライフジャケットのレンタル事業など、町としての安全対策は。

曾我部産業経済課長

現在、安全対策の一環として、仁淀川の波川公園対岸、左岸側で飛び込み行為を行っている方々への注意喚起の看板を管理者である国土交通省が設置している。

今後ライフジャケットの着用を推進するため、町ホームページなどを活用した啓発活動を行う他、ライフジャケットの貸し出しについても有効な取り組みであり、まずは試行的に、いの町観光協会において貸し出しが行えるよう検討する。

子育て世帯への 支援体制拡充は

田上議員

町において、夜間養護等事業に相当する事業は。

金子ほけん福祉課長

現在ほけん福祉課が利用窓口である「子育て短期支援事業」がある。

本事業は、子ども・子育て支援法に基づき、児童を養育している家庭の保護者が、病気や育児疲れなどの理由により、家庭において養育を受けることが一時的に困難となった場合、一定期間養育及び保護を実施するもので、ホームページなどでお知らせしていると、相談があった際には、受け入れに向けての委託先施設との連絡・調整を随時行っている。

入園手続きのフォローアップ

田上議員

一目見て、保育施設に入所する段取りが示されている資料を、入園を考えている保護者に配布することは可能か。

宮脇教育次長

現在、入園申し込み案内の冊子を使って案内をし、利用者からの質問や不明点などの問い合わせは、電話や窓口で、教育委員会の担当職員ができる限り分かりやすく丁寧な説明を行っている。

一方、より分かりやすい資料の提示や説明の仕方に改善すべき点がある。今後利用者からの視点に立ち、入園案内冊子の見直しや手続きが簡単に理解できるように資料を早急に検討し、改善を図る。また、改善した内容や資料をホームページに掲載するとともに、窓口などでも配布、説明するなどして、広く周知に努める。

その他の質問事項

・「ファミリーサポート事業はっぴい」の展望は

「議会だより いの」表紙などに掲載する写真を募集します

応募資格：いの町在住の方

注意事項：撮影場所はいの町内

白黒・カラーとも可

オリジナルの未発表のもの

締め切り：1月、4月、7月、10月の5日

応募方法：メールによる応募

gikai@town.ino.lg.jp

詳細はいの町議会ホームページをご覧ください



収穫前の彩り（上八川丙）

「議会だよりいの」は、
資源保護のため再生紙
を使用しています。

発行

高知県いの町議会

TEL 088-893-1134

FAX 088-893-1125

発行人 議長 池沢 紀子

編集 議会広報特別委員会

印刷 (株)高知新聞総合印刷

議会を傍聴してみませんか

町民の皆さまの暮らしにかかわる施策などが決められる
大切な議会です。

12月定例会は、12月初旬にいの町役場本庁舎で開催の予定です。

皆さまのご意見をお寄せください

TEL 088-893-1134 FAX 088-893-1125

Eメール gikai@town.ino.lg.jp